

1958

ブリヂストン美術館

館報

6

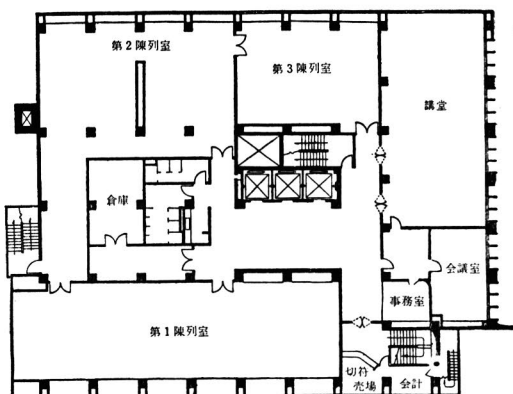
BRIDGESTONE GALLERY





1958  
ブリヂストン  
美術館  
館報

昭和 32 (1957) 年度記録



## 目 次

1	設 立 趣 旨	1
2	位 置・設 備	1
3	機 構・運 営	1
4	開 館 時 と 入 場 料	2
5	32年度入場者一覧	2
6	梅原竜三郎・伊新作展	3
7	未 公 開 作 品 展	3
8	小 出 檜 重 遺 作 展	4
9	モーリス・グレイヴス自選展	5
10	新エコール・ド・パリ展	5
11	ピ カ ソ 展	6
12	世界現代芸術展	8
13	世界の中の日本抽象美術展	9
14	マネ=カッツ作品展	10
15	坂田一男遺作展	10
16	棟方志功板画屏風展	11
17	山本豊市作品展	11
18	トーマス・ジョージ作品展	11
19	林 倭 衛 遺 作 展	11
20	山 本 丘 人 個 展	12
21	追加新展示作品	12
22	土 曜 講 座	13
23	作 曲 家 の 個 展	14
24	L. P. レコード・コンサート	14
25	主 な 日 録	14
26	映 画	14
27	ブリヂストン美術館作品目録	15
28	美術家映画のこと	21



## 設 立 趣 旨

ブリヂストン美術館は、石橋正二郎氏が多年に亘って蒐集愛蔵した内外の美術品を、社会公共の為文化向上の一端に貢献したいという趣旨に基き、昭和27年1月、ブリヂストンタイヤ株式会社創立20周年を記念して開設されたものであり、その充実発展を期するため、昭和31年4月設立された財団法人石橋財団がその経営を承継したものである。

## 位 置 ・ 設 備

- 名 称**——本美術館は“ブリヂストン美術館”と称し、英文では“BRIDGESTONE GALLERY”と記す。  
設立者石橋正二郎氏を記念し、その姓を英名化したものである。(橋 Bridge, 石 Stone)
- 位 置**——東京都中央区京橋一丁目一番地の一 ブリヂストンビルディング2階  
国電・東京駅八重州口下車。都電・通三丁目下車。地下鉄・京橋(日本橋寄口)又は日本橋(高島屋口)下車
- 面 積**——ブリヂストンビル2階全部 400 坪
- 部 屋 割**——第1陳列室, 第2陳列室, 第3陳列室, 講堂, 会議室, 事務室, 倉庫
- 照 明**——蛍光灯と白熱燈の併用
- 換 気**——エアーコンディションによる換気及び冷暖房, 湿度調整

## 機 構 ・ 運 営

美術館は、財団法人石橋財団に所属し、その運営は、運営委員会に委ねられている。機構次の通り

**石 橋 財 団 理 事 長** 石橋正二郎

**理 事** 鳩山 一 郎, 牧 野 良 三, 野 田 俊 作, 石井光次郎, 団 伊 能, 森 莊三郎,  
君 島 武 男, 石橋幹一郎

**監 事** 加島五郎, 成毛収一, 郷 裕 弘

**評 議 員** 佐 藤 尚 武, 石井光次郎, 石橋正二郎, 団 伊 能, 谷口弥三郎, 森 莊三郎,  
君 島 武 男, 加島五郎, 鶴 沢 晋, 富永惣一, 石橋幹一郎, 鳩山 安子,  
成 毛 典 子, 竜頭文吉郎, 上 原 四 郎

**事務局長** 上 原 四 郎

**ブリヂストン美術館顧問** 細川護立, 浅野長武, 和田英作

**参 与** 入間野武雄, 大原総一郎, 上野直昭, 福島繁太郎, 久保貞次郎, 矢代幸雄,  
今泉篤男, 河北倫明, 松本栄一, 秋山光夫

**館 長** 石橋正二郎

**運 営 委 員 会 委 員 長** 団 伊 能

**委 員** 伊原宇三郎, 猪熊弦一郎, 富永惣一, 嘉門安雄, 谷 信 一, 石橋幹一郎

**主 事** 岩 佐 新 囑 託 徳大寺公英

**学芸員** 六条隆次, 山上隆之輔, 大井えみ子

## 開館時と入場料

開館時間 午前10時～午後5時30分

休館 毎月曜日、年末12月28日～1月4日

但し、7月1日～8月31日の間は冷房の関係上、毎日曜日休館

入場料 (一人) 一般 ¥50, 学生 ¥30, 12歳未満 ¥20,

(団体) 一般 ¥40, 学生 ¥20, 12歳未満 ¥10,  
二十人以上

尚、特別展の場合は、変更することがある。

## 昭和32年度入場者一覧

	一般	学生	小人	団体	合計	フリーパス	総計	有料者 一日平均
1月	6128	3285	75	1133	10621	362	10983	462
2月	12205	6427	176	2391	21199	355	21554	883
3月	6151	5323	137	972	12583	287	12870	466
4月	5473	3216	68	592	9349	566	9915	374
5月	2329	1248	31	222	3830	151	3981	142
6月	2885	1694	19	437	5035	250	5285	194
7月	2163	1263	30	98	3554	186	3740	132
8月	3843	2540	95	285	6763	404	7167	260
9月	5748	4917	51	804	11520	450	11970	461
10月	5038	4031	48	3309	12426	504	12930	478
11月	3465	3257	44	361	7127	391	7518	274
12月	2869	2041	26	395	5331	493	5824	232
合計	58297	39242	800	10999	109338	4399	113737	363

有料者一日平均数は、開館日実数を以て算出したものである。

# 梅原竜三郎仏伊新作展

(1月22日～2月24日)

朝日新聞社、当館共同主催、当館第2,3陳列室に於て開催

1	ナ	ボ	リ	(1)	11	ナ	ボ	リ	(11)	21	ヴ	ェ	ニ	ス	(8)	31	カ	ン	ヌ	(3)
2	"	"	"	(2)	12	"	"	"	(12)	22	"	"	"	"	(9)	32	"	"	"	(4)
3	"	"	"	(3)	13	"	"	"	(13)	23	"	"	"	"	(10)	33	"	"	"	(5)
4	"	"	"	(4)	14	ヴ	ェ	ニ	ス	(1)	24	"	"	"	(11)	34	"	"	"	(6)
5	"	"	"	(5)	15	"	"	"	(2)	25	"	"	"	"	(12)	35	"	"	"	(7)
6	"	"	"	(6)	16	"	"	"	(3)	26	ア	ン	ティ	ー	ブ	(1)	36	"	"	(8)
7	"	"	"	(7)	17	"	"	"	(4)	27	"	"	"	"	(2)	37	"	"	"	(9)
8	"	"	"	(8)	18	"	"	"	(5)	28	"	"	"	"	(3)	38	"	"	"	(10)
9	"	"	"	(9)	19	"	"	"	(6)	29	カ	ン	ヌ	"	(1)					
10	"	"	"	(10)	20	"	"	"	(7)	30	"	"	"	"	(2)					

## 未公開作品展

(2月26日～3月24日)

当館第2,3陳列室に於て開催(当館主催)

絵	画			26	ク	ー	ト	ー	裸	婦	(水 彩)
1	ギ	ー	ス	二人の女	(水 彩)	27	オー	ジャム	裸	婦	(水 彩)
2	リ	ボ	ー	二人の老婆	(油 彩)	28	カル	ヅ	風	景	( 〃 )
3	ビ	サ	ロ	風 景	(素 描)	29	マ	チュウ	作	品	(油 彩)
4	ド	ガ		浴 後	(パステル)	版 画					
5	シ	ス	レー	ガール海岸	(油 彩)	1	ル	ド	ン	ヨハネ黙示録	(石 版)
6	セ	ザ	ンヌ	素 描		2	〃		〃		
7	ル	ド	ン	失 題	(油 彩)	3	〃		〃		
8	モ	ネ	ー	河のほとり	( 〃 )	4	〃		〃		
9	シ	ニ	ヤック	風 景	(水 彩)	5	〃		〃		
10	ル	ッ	セル	風 景	(パステル)	6	〃		〃		
11	ヴィ	ヤール		鏡 の 前	( 〃 )	7	〃		〃		
12	ド	ニ		船 祭	(油 彩)	8	〃		〃		
13	ル	オ	ー	顔	( 〃 )	9	〃		〃		
14	〃			坐せる裸婦	( 〃 )	10	〃		〃		
15	ヴ	ラ	マンク	風 景	( 〃 )	11	〃		〃		
16	〃			風 景	(水 彩)	12	〃		〃		
17	ド	ラ	ン	裸 婦	(油 彩)	13	エル	ン	スト	失 題	(石 版)
18	〃			裸 婦	(素 描)	14	カル	ヅ	ー	二 人	(着色石版)
19	ワ	ロ	キエ	風 景	(水 彩)	15	グ	レ	コ	裸 婦	(石 版)
20	〃			顔	( 〃 )	16	〃		裸 婦	( 〃 )	
21	ピ	カ	ソ	鳩	( 〃 )	17	〃		半 裸 婦	( 〃 )	
22	〃			踊 子	( 〃 )	18	〃		女 の 顔	( 〃 )	
23	ミ		ロ	コンボジション	( 〃 )	19	〃		踊 る 女	( 〃 )	
24	サ	エ	ッティ	母 子	(パステル)	彫 刻					
25	ク	ー	ト	海 辺	(油 彩)	1	ギリ	シ	ャ	ポセイ	ドンの顔 (マーブル)

2	北部フランス	キリストの顔	(木)	5	ドガ	女の顔	(ブロンズ)
3	ドガ	足を洗う女	(ブロンズ)	6	"	足を拭く女	(")
4	"	裸婦	(")	7	マイヨール	裸婦	(")

## 小出楯重遺作展

(3月26日~4月21日)

当館第2,3陳列室に於て開催(当館主催)

油 彩 水 彩							
1	銀	扇	1914	37	横たわる裸女		1928
2	アネモネ		1915	38	西瓜のある静物		"
3	静	物	1919	39	ばら		"
4	Nの家族		"	40	ばら		"
5	風景		1920	41	蔬菜静物		1928?
6	静	物	"	42	支那寝台の裸婦		1929
7	自画像		"	43	支那寝台の裸婦		"
8	裸婦立像		1921	44	裸婦		"
9	汽車の見える風景		1922	45	芦屋川		"
10	室内		"	46	牡丹		"
11	カーニュ風景		"	47	牡丹		"
12	フランス人形		"	48	テーブルと立つ裸婦		1930
13	あざみ		1923	49	支那寝台の裸婦		"
14	貝細工		"	50	フランス人形		"
15	子供立像		"	51	フランス人形		"
16	人形のある静物		"	52	支那寝台の裸婦		"
17	フランス人形		1924	53	晴着		"
18	帽子をかぶった自画像		"	54	裸婦		"
19	椅子に凭る裸婦(水彩)		"	55	裸婦		"
20	フランス人形		"	56	別府の海		"
21	草花静物		"	57	裸婦		"
22	草花静物		"	58	臥裸婦		"
23	野菜		"	59	枯木のある風景		"
24	地球儀のある静物		1925	60	裸女(水彩)		"
25	裸婦		"	61	裸婦(")		"
26	白布を持てる裸婦		"	62	裸婦(")		"
27	芦屋風景		1926	63	臥裸婦(")		1924
28	毛糸束		"	素 描			
29	鏡と裸婦		"	1	花(淡彩)		1929
30	花		1927?	2	支那寝台の裸婦(淡彩)		"
31	草花静物		1927	3	裸婦		"
32	裸女結髪		"	4	支那寝台の裸婦		"
33	静物トマト		"	5	テーブルと裸女		1930
34	黒卓静物		"	6	裸女(ペン)		1928
35	黒卓静物		"	7	裸女(ガラス絵の下絵)		
36	黒卓花		"	8	フランス人形		1930

ガ ラ ス 絵			10	支那寝台の裸女	1930
1	花	火	1923	11 静 物	"
2	裸	婦	1924	水 墨	
3	裸	婦	1926	1 春	1928
4	裸	婦	1927	2 夏	"
5	裸	婦	1928	3 秋	"
6	支那寝台の裸女		1929	4 冬	"
7	フランス人形		"	5 フランス人形	"
8	裸	女	"	6 鏡にうつる日本髪	"
9	フランス人形		"	7 支那寝台の裸女	"

## モーリス・グレイヴス自選展

(6月4日~7月20日)

当館第2,3陳列室に於て開催(当館主催)

1	野生の白鳥	1933	21	鳥の形になる銅器	1947
2	自画像	"	22	銅器と鏡	"
3	静物	1934	23	自分の胸を食うアイビス	"
4	月と海	"	24	春	1950
5	聖杯	1939	25	鳥と種	1952
6	"	"	26	仮面の鳥	1953
7	"	"	27	祭壇の猿	"
8	きつつき	1940	28	何時もこうして私を運ぶ	"
9	月の出	"	29	冬の眠	1954
10	太陽と月	1942	30	能の花	"
11	月の出	1943	31	能の花	"
12	鳥と海	"	32	半世紀の冬眠	"
13	報せ	"	33	小魚	1955
14	海と魚と星	1944	34	小魚	"
15	老松のいただき	"	35	小魚	"
16	旅 (No. 3)	"	36	小魚	"
17	松のいただき	"	37	小魚	"
18	冬の葉	"	38	夜の動物	1956
19	アジアの花	1945	39	花	
20	鶴の姿になる意識	"	40	眠る動物	1954

## 新エコール・ド・パリ展

(8月20日~9月8日)

読売新聞社、当館共同主催、当館第2,3陳列室に於て開催

菅 井 汲			2	作品 (2)	(グワッシュ)
1	男	(グワッシュ)	3	" (3)	( " )
2	女	( " )	ベルトラン		
バ レ			1	作品 (1)	(グワッシュ)
1	作品 (1)	(グワッシュ)	2	" (2)	( " )



3 作 品 (3)	(デッサン)	3 作 品 (3)	(グワッシュ)
ク レ ー ル		フ ェ イ ト	
1 作 品 (1)	(グワッシュ)	1 作 品 (1)	(グワッシュ)
2 " (2)	( " )	2 " (2)	( " )
3 " (3)	( " )	ギ テ	
カ ミ ユ		1 作 品 (1)	(グワッシュ)
1 作 品 (1)	(グワッシュ)	2 " (2)	( " )
2 " (2)	( " )	3 " (3)	( " )
3 " (3)	( " )	佐 藤 敬	
デ ュ ー ゼ		1 ヴィルチュアリテ	(グワッシュ)
1 作 品 (1)	(コラージュ)	2 大 地	( " )
2 " (2)	( " )	3 月	( " )
コ ル ネ イ ユ		ペ ル テ ィ ニ	
1 作 品 (1)	(グワッシュ)	1 作 品 (1)	(石 版)
2 " (2)	( " )	2 " (2)	( " )
3 " (3)	( " )	フ ォ ト リ エ	
デ イ ロ ー ル		作 品	(デッサン)
1 作 品 (1)	(グワッシュ)	ジ リ オ リ	
2 " (2)	( " )	作 品	(デッサン)
3 " (3)	( " )	シュネーデル	
ビ シ ャ ッ ト		作 品	(パステル)
1 作 品 (1)	(グワッシュ)	ア ト ラ ン	
2 " (2)	( " )	1 作 品 (1)	(パステル)
3 " (3)	( " )	2 " (2)	( " )
ク ー ニ ッ グ		デュビュッフェ	
1 作 品 (1)	(グワッシュ)	作 品	(デッサン)
2 " (2)	(コラージュ)	アルトゥング	
3 " (3)	( " )	作 品	(銅 版)
フ ィ ッ シ ャ		ス ー ラ ー ジュ	
1 作 品 (1)	(グワッシュ)	作 品	(銅 版)
2 " (2)	( " )		

## ピ カ ソ 展

(9 月 10 日～10 月 9 日)

朝日新聞社、当館共同主催、フランス大使館、サントル・デュ・  
リーヴル・フランセ後援、当館第2,3陳列室に於て開催

油 彩		1 足を組み合せた花冠の裸婦	1930
1 女 の 顔	1923	2 ゆ あ み	"
2 茶 碗 と 匙	1922	3 カーテンの前に座っている女	1931
3 卓子掛の上の静物	1946	4 被布をはぐ男	"
4 馬	1923	5 足をちぢめている女	"
5 アルルカン	1923	6 カ づ く	"
6 風 景	1919	7 三人の裸婦と笛を吹いている牧羊神	"
銅 版		8 二人のカタロニアの酒飲み	1933頃

9	怪獣を見ている四人の子供	1933頃	ウロス	1934
10	水浴している二人の裸婦	1933	石 版	
11	闘 牛	"	1 白い背景の女の顔	1945
12	闘 牛	"	2 黒い背景の女の顔	"
13	馬とアクロバットたち	"	3 黒い背景の女の顔	"
14	座っている裸婦のある顔の習作	1934	4 ゆたかな髪 of 若い娘	1945
15	牡牛, 馬と女	"	5 白い背景 of 若い娘の顔	"
16	牡牛, 馬と横たわっている女	"	6 わけ髪 of 若い女	1946
17	ミノタウロスと鳥の彫刻のある二人の男	1935頃	7 貝 殻 と 鳥	"
18	蠟燭の火に照らされた女を見守る少年	"	8 黒い酒壺と髑髏	"
19	暴 力	1933頃	9 フランソワーズ, ヘヤネットの女	"
20	抱 擁	"	10 フランソワーズ, 下げ髪 of 女	"
21	抱 擁	1933	11 フランソワーズ, 渦巻き髪 of 女	"
22	抱 擁	"	12 フランソワーズ, なめらかな髪 of 女	"
23	レンブラントの顔とさまざまな習作	1934	13 フランソワーズ, 渦巻き髪 of 女	"
24	二人の裸婦とレンブラントの肖像	"	14 フランソワーズ, 波形髪 of 女	"
25	座っている彫刻家, 横たわっているモデルと男の立像	1933頃	15 光線のあたった顔	"
26	裸婦像を見ている彫刻家とモデル	"	16 二 匹 の 雉 鳩 1.	"
27	胸像のまえの二人の女	1933	17 二 匹 の 雉 鳩 2.	"
28	モデルを見て制作している彫刻家	"	18 二重になった二匹の雉鳩	"
29	座っている彫刻家と二つのトルソー	"	19 とまっているふくろ	1947
30	胸像を見ている彫刻家	"	20 母 と 子	"
31	牡牛と二人の酒神の彫刻を見ている彫刻家とモデル	"	21 牧羊神と女のケンタウロス	"
32	休息している彫刻家, 横たわっているモデルと彫刻	"	22 灰色の背景の鳩	"
33	彫像と棒立ちになっている馬の彫刻を見ている膝まづく女	"	23 三角模様のジャケットを着た若い娘	"
34	窓ぎわにいる彫刻家とモデル	"	24 黒い背景の白い鳩	"
35	彫刻家とモデルの顔と大股に歩いている青年像	"	25 果物入れのある静物	"
36	男の顔のデッサン, 背中から見た裸婦と少女	"	26 鳩 と 子	"
37	モデルと超現実風の椅子	"	27 花瓶のある構成	"
38	うづくまっているモデル, 裸婦像と首	"	28 二 人	"
39	座っている裸婦像, 胸像と花瓶	"	29 横 顔 の 女	"
40	胸像を見ている三人の衣裳を着けた人物	1934	30 素焼の壺のある静物	"
41	背なか向きの裸婦と横顔	"	31 黒い背景の横顔の女	"
42	四人のモデルと首の彫刻	"	32 黒 い 牡 牛	"
43	娘を襲っているミノタウロス	1933	33 鏡の前に座っている裸婦	"
44	瀕死のミノタウロス	"	34 うづくまっている女と眠っている男	"
45	ミノタウロス, 酒を飲んでいる彫刻家と三人のモデル	"	35 三角模様のジャケットを着た若い女	"
46	鳩を持った少女に導かれる盲目のミノタ	"	36 ダヴィデとベトサベ 1.	"
			37 ダヴィデとベトサベ 2.	"
			38 ダヴィデとベトサベ 3.	"
			39 ダヴィデとベトサベ 4.	"
			40 コンボジション	"
			41 ふ く ろ	1948
			42 横 顔 の 牧 羊 神	"
			43 ひげ面の牧羊神	"

44 踊っているケンタウロス	1948	73 出 陣	1951
45 牧 牛 の 首	"	74 バルザック	1952
46 ア ト リ エ	"	75 パロマと人形	"
47 人 物	"	76 パ ロ マ	"
48 横 顔 の 習 作	"	77 縫とりのジャケット	1953
49 肘かけ椅子に腰かけている女	"	78 女 の 顔	"
50 鳩	1949	79 ヴァロリスの庭	"
51 え び	"	80 ヴァロリス風景	"
52 肘かけ椅子に腰かけている女	"	81 イタリアの女	"
53 ひ き が え る	"	82 横たわっているモデル	1954
54 若い女流画家	"	83 ダ ン ス	"
55 女流画家と子供	"	84 牡 牛 遊 び	"
56 黒い背景の女の顔	"	85 サルタンバンク, 旅芸人の家族	"
57 人 物	"	86 芝 居 の 一 座	"
58 構成された顔 1.	"	87 下 稽 古	"
59 構成された顔 2.	"	88 モデルと二人の人物	"
60 闘 牛	"	89 二人の裸のモデル	"
61 花の冠りの若い女	"	90 椅子に手をかけている裸婦	"
62 縞模様のジャケットを着た男	"	91 二 人 の 道 化	"
63 飾 り 槍	"	92 画家とモデル	"
64 熱 帯 の 植 物	"	93 いたづら描きする子供	"
65 ヴィーナスとキューピッド	"	94 カンスのアトリエ	1955
66 ヴィーナスとキューピッド	"	95 うづくまっている二人の女	1956
67 青 春	1950	96 傷ついた闘牛士	"
68 飛んでいる鳩	"	97 古代風な場面	"
69 顔 と 石	"	98 三色のプロフィール	"
70 灰色の背景のフランソワーズ	"	99 下手な絵の蒐集	"
71 槍	"	ポ ス タ ー	
72 騎士と小姓	1951	1~6	6 点

## 世界現代芸術展

(10 月 11 日~11 月 10 日)

読売新聞社, 当館共同主催, 当館第2,3陳列室に於て開催

絵 画	デ・クーニング	ハルトベルグ
ジェームス・ブラウン	作 品	作 品
作 品	フォートリエ	サ レ ス
ア ベ ル	作 品	作 品
1 作 品 (1)	モ レ ニ	アッカルディ
2 " (2)	作 品	作 品
ロ ー ネ	タルコアット	フォ ン タ ナ
作 品	作 品	作 品
今 井 俊 満	セルパン	ト ビ ー
1 作 品 (1)	1 作 品 (1)	1 作 品 (1)
2 " (2)	2 作 品 (2)	2 " (2)

キャボグロッシ	1 作 品 (1)	フランケンシュタイン
作 品	2 " (2)	1 作 品 (1)
ギエット	ブーリ	2 " (2)
作 品	作 品	バオロツイ
ダミアン	ジェンキンス	作 品
作 品	作 品	勅使河原蒼風
リオベル	サン・フィリップ	1 作 品 (1)
作 品	作 品	2 " (2)
マチウ	ラガーヌ	ドラエ
1 作 品 (1)	作 品	作 品
2 " (2)	ルート・フランケン	マルタン
ヴェッセル	作 品	1 作 品 (1)
作 品	堂本尚郎	2 " (2)
タピエス	作 品	番外陳列
1 作 品 (1)	デュビュッフェ	福島秀子
2 " (2)	作 品	作 品
ボロック	ボイレ	大西茂
作 品	作 品	作 品
ヴォルス	ゾンデルボルグ	吉原治良
作 品	作 品	作 品
サウラ	ミッチェル	白髪一雄
作 品	作 品	作 品
オジアッソン	ブルーム	嶋本昭三
作 品	作 品	作 品
サム・フランシス	彫 刻	小野忠弘
		作 品

## 世界の中の日本抽象美術展

(11 月 12 日～11 月 24 日)

アメリカの世界の抽象画家を集めた出版物によつて認められた日本人作家の展覧会、朝日新聞社、当館共同主催、当館第2,3陳列室と講堂に於て開催

長谷川三郎	5 作 品 No. 3	(彫 刻)
1 桂 離 宮 (版 画)	岡田謙三	
2 環 境 ( " )	1 作 品 No. 1	(油 彩)
3 祈 り (拓 本)	2 " No. 2	( " )
恩地孝四郎	3 " No. 3	( " )
1 日 本 の 憂 愁 (版 画)	4 " No. 4	( " )
2 かけらになっている幸福 ( " )	川口軌厓	
3 絶 望 強 制 ( " )	1 構 成 (油 彩)	
イサム・ノグチ	2 人 体 ( " )	
1 お か め (彫 刻)	3 青 調 の 人 体 ( " )	
2 釜 ( " )	山 口 薫	
3 作 品 No. 1 ( " )	1 牛 A (油 彩)	
4 " No. 2 ( " )	2 牛 B ( " )	

3	森の二重像	(油彩)	2	青の人	(油彩)
4	木馬とホントの馬	( 〃 )	3	柵の向うの人	( 〃 )
山口 長 男			4	顔	( 〃 )
1	A	(油彩)	西 田 信 一		
2	B	( 〃 )	1	流動 A	(油彩)
3	C	( 〃 )	2	流動 B	( 〃 )
4	D	( 〃 )	3	連続	( 〃 )
山口 正 城			末 松 正 樹		
1	春のこだま	(油彩)	1	作品 A	(油彩)
2	冬の山彦	( 〃 )	2	作品 B	( 〃 )
3	たそがれ	( 〃 )	3	作品 C	( 〃 )
4	幼ないカノン	( 〃 )	4	作品 D	( 〃 )
村 井 正 誠			植 木 茂		
1	人	(油彩)	ト ル ソ ー		(彫刻)

## マネ=カッツ作品展

(12月10日～12月22日)

毎日新聞社、当館共同主催、当館第3陳列室に於て開催

1 ノートルダム寺院	7 散歩	13 沈思	19 赤い馬
2 孤独	8 黄色い花	14 黄色いロープ	20 父と子
3 結婚式	9 オーケストラ	15 積 薬	21 赤いバイオリン
4 花	10 馬	16 孤独な人	その他デッサン7点、
5 バリの花屋	11 太陽	17 緑色のロープ	陶画(タイル)1面
6 ウクライナ風景	12 祈り	18 結婚式	

## 坂田一男遺作展

(4月16日～4月24日)

当館講堂に於て開催

油 彩		16	コムポジション	1949	32	釣	1955
1 裸婦習作	1913～17	17	或日の構想	1952	33	上半身の裸婦	〃
2 静物	1934	18	散布による構想	〃	34	背戸	〃
3 静物	〃	19	上 已	〃	35	壺	〃
4 作品	〃	20	並 列	〃	36	平行線と濃度による	〃
5 端午	1937	21	コムポジション	〃		コムポジション	〃
6 作品	1948	22	エスキース	1953	37	力学的構成	1956
7 作品	〃	23	エスキース	〃	38	コムポジション	〃
8 コムポジション	〃	24	エスキース	〃	39	堆 積	〃
9 コムポジション	〃	25	釣	〃	40	力学的構成	〃
10 コムポジション	1949	26	裸 婦	1954	デッサン		
11 作品	〃	27	オダリスク	〃	1 人 体		1938
12 作品	〃	28	建築物	〃	2 コムポジション		1955
13 作品	〃	29	上 已	〃	エスキース		
14 或夜の幻想	〃	30	上 已 (色紙)	〃	1～15	15 点	
15 コムパス	〃	31	コムポジション	1955			



フランスの哲学者  
ガブリエル・マルセル氏来館  
(11月27日)  
(右端がマルセル氏)

コスタリカ前蔵相グルディアン氏  
ナシオン新聞社長カストロ氏来館  
(5月10日)

マルセル氏のサイン

向って左より、石橋幹一郎氏、植田氏  
カストロ氏、グルディアン氏 石橋正二  
郎氏

梅原龍三郎仏伊新作展の会場に  
於ける梅原氏(中央)

前、フランス、グルノーブル美術館長レイマリー氏来館  
左より、石橋正二郎氏、レイマリー氏、石橋夫人(5月22日)

ラゴン氏の講演「パリの抽象絵画」  
(8月24日土曜特別講座)



映画「前田青邨」試写会に訪れた(7月19日)  
喜多六平太氏(左)と前田青邨氏(右)

← 満員の聴衆

日本現代作曲家の作品演奏会  
「作曲家の個展」に於ける芥川也寸志氏  
(8月10日)



石井好子嬢の講演「海外よもやま話」  
(8月3日土曜講座)



〔梅原龍三郎 伊新作展〕  
（1月22日―2月24日）

カ  
ン  
ヌ

カ  
ン  
ヌ

ヴ  
ェ  
ニ  
ス

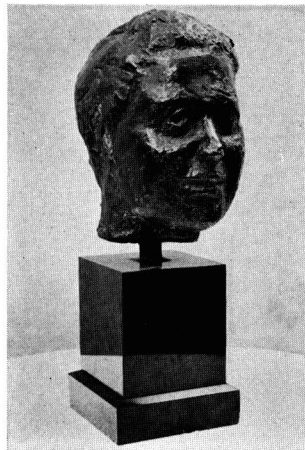
カ  
ン  
ヌ

〔未公開作品展〕  
（2月26日～3月24日）



ガ  
ー  
ル  
海  
岸

シ  
ス  
レ  
ー



女 の 顔

ド ガ

コンポジション

ミ ロ

鳩

ピカソ

河のほとり

モネー

〔小出檣重遺作展〕 ( 3 月 26 日 ~ 4 月 21 日 )

花 ( 1929 )

牡丹 ( 1929 )

毛糸束 ( 1926 )

別府の海 ( 1930 )

支那寝台の裸婦 ( 1930 )

室内 ( 1922 )

〔新エコール・ド・パリ展〕  
( 8 月 20 日 ~ 9 月 8 日 )

ベルトラン

佐藤敬

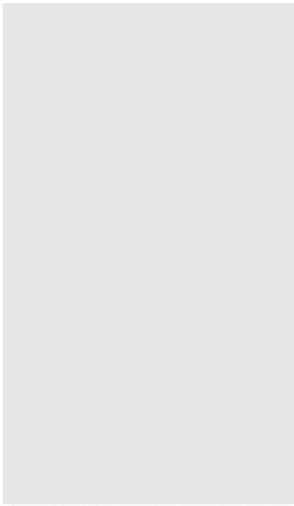
シュネーデル

クレール

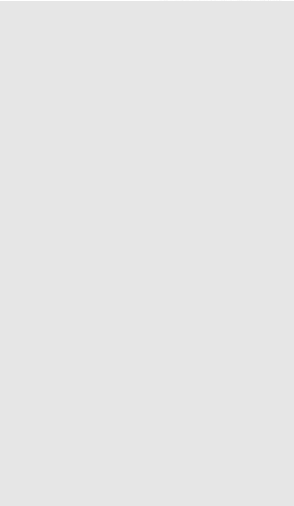
バレン

菅井汲

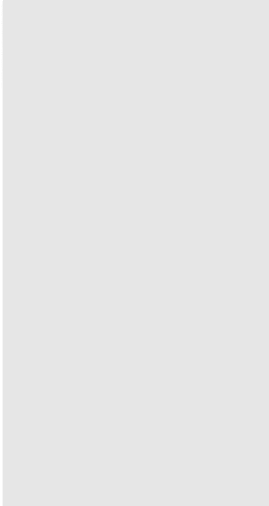
アジアの花 (一九四五)



鶴の姿になる意識 (一九四五)



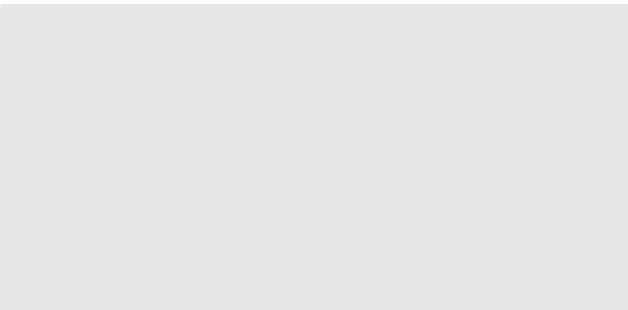
松の頂 (一九四四)



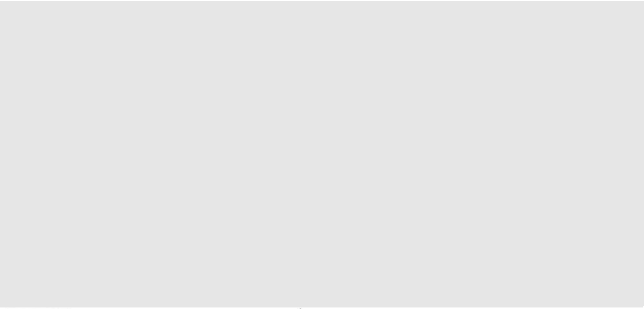
仮面の鳥 (一九五三)



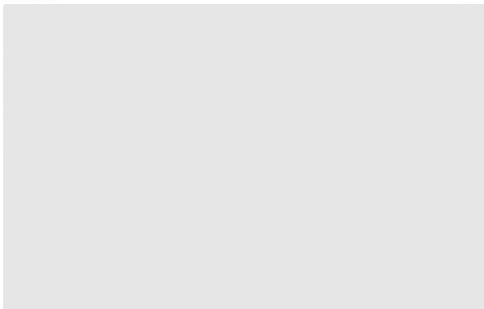
報せ (一九四三)



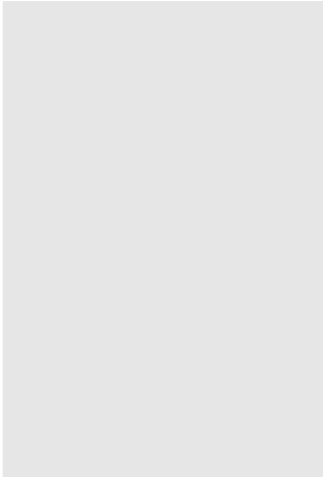
海と星と魚 (一九四四)



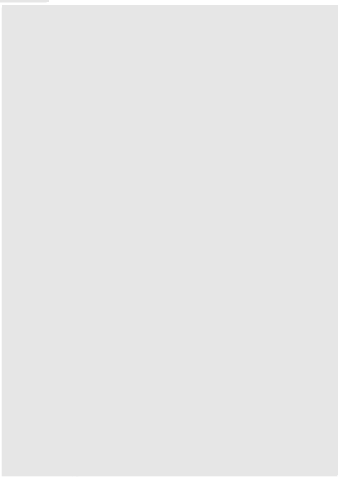
能の花 (一九五四)



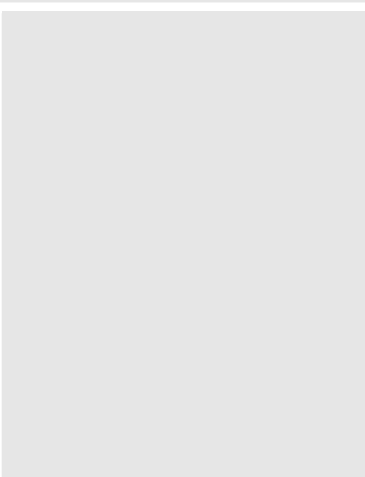
きつつき (一九四〇)



春 (一九五〇)



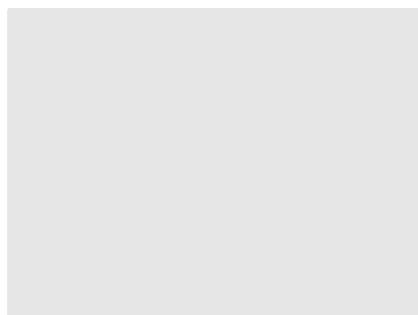
自画像 (一九三三)



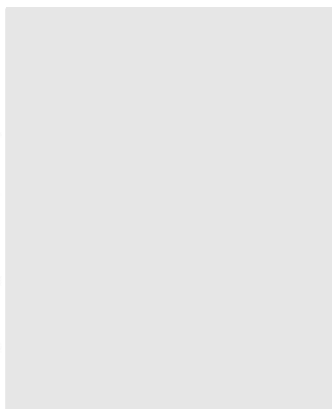
〔モーリス・グレイヴス自選展〕  
(6月4日ー7月20日)



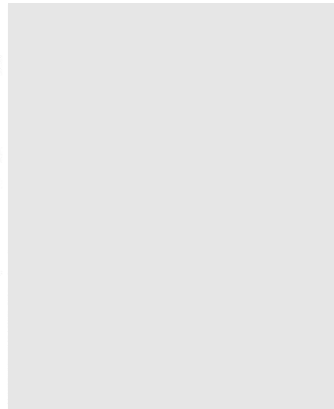
〔坂田一男遺作展〕  
(4月16日～24日)



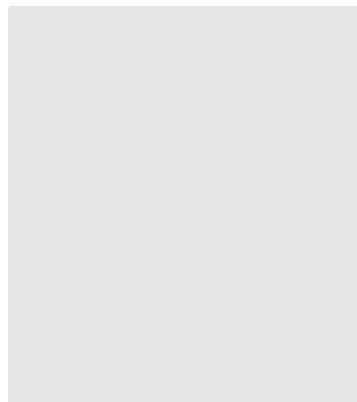
オダリスク  
(一九五四)



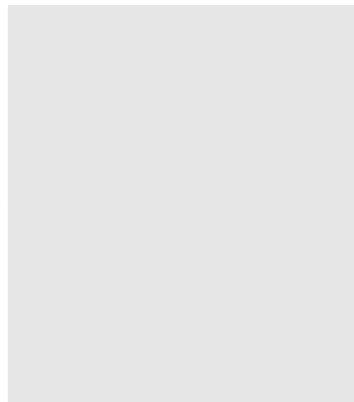
或る日の構想  
(一九五二)



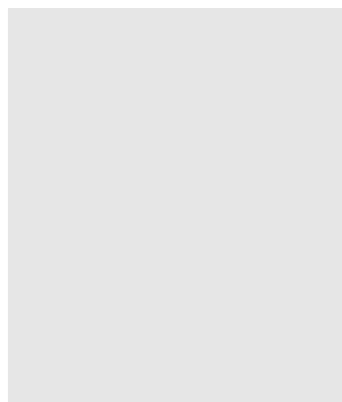
コンボジション  
(一九五五)



壺  
(一九五五)



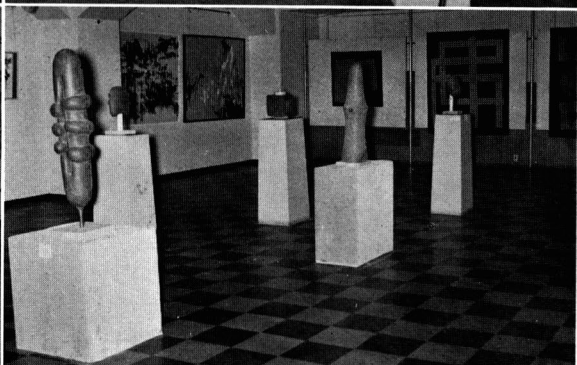
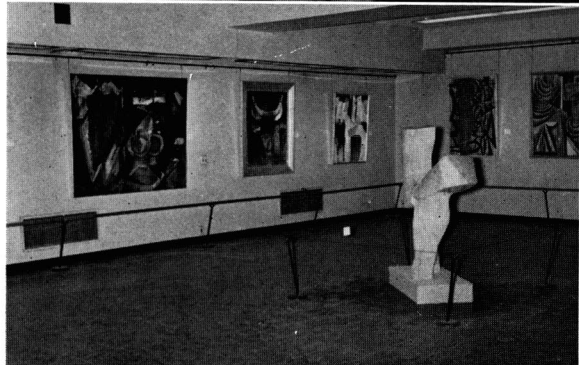
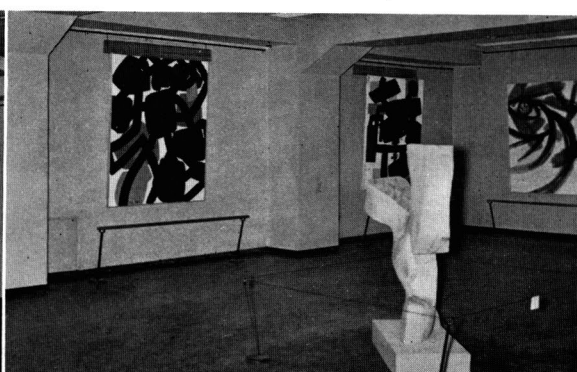
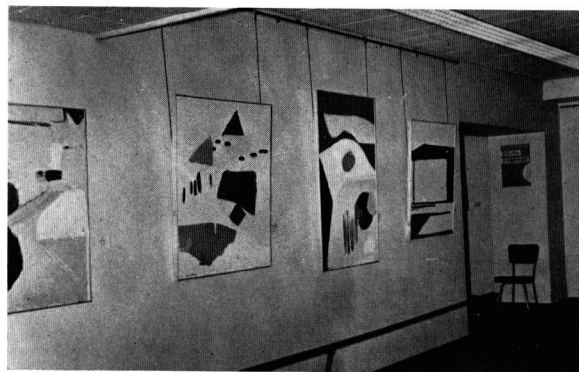
散布による構想  
(一九五二)



静物  
(一九三四)

〔世界の中の日本抽象美術展〕

(11月12日～24日)

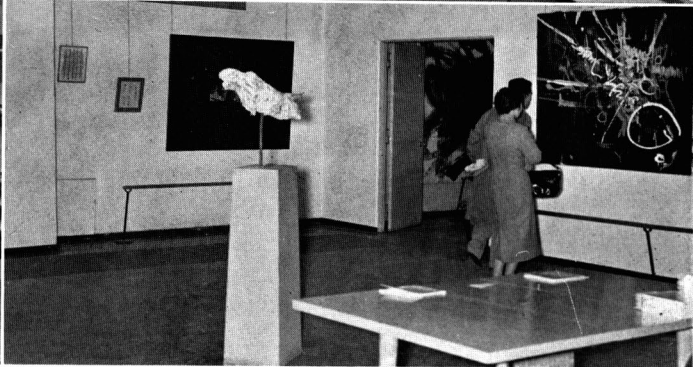
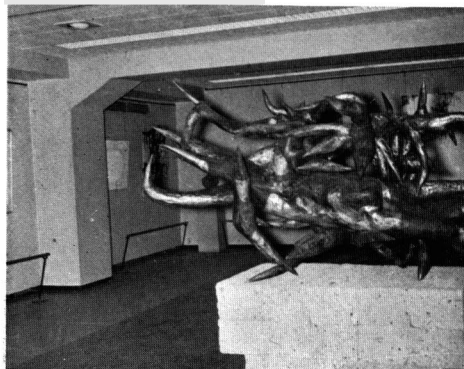


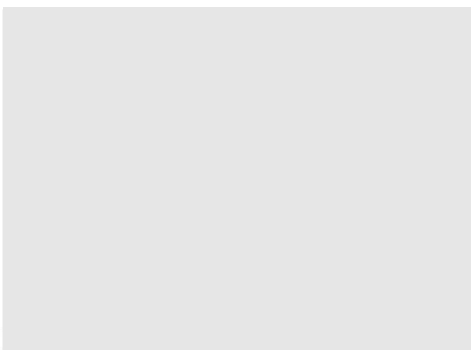
〔ピカソ展〕

(9月10日—10月9日)

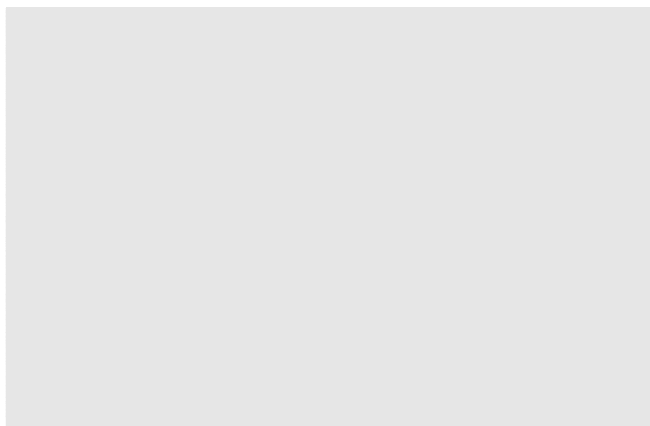


〔世界現代芸術展〕  
—アンフォルメル作品—  
(10月11日—11月10日)  
アンフォルメル運動の父  
ミシェル・タビエ氏来館

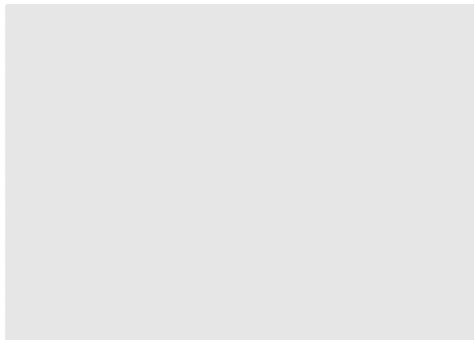




トーマス・ジョージ個展  
久保貞次郎氏、トーマス・ジョージ氏



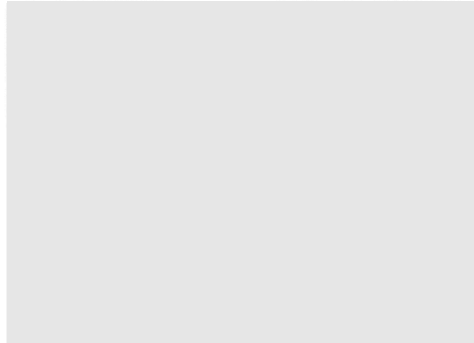
マネ・カッツ個展 フランス駐日大使夫妻とマネ・カッツ氏(右端)



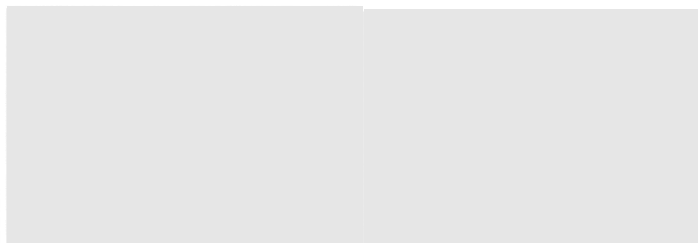
山本豊市個展 会場の山本豊市氏



棟方志功板画屏風展

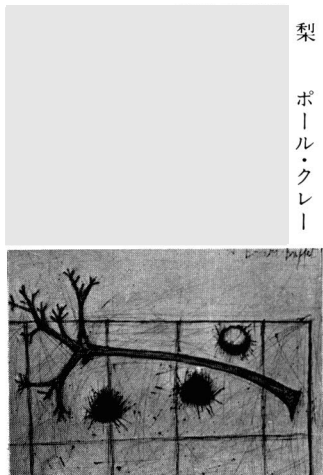


山本丘人個展 会場の山本丘人氏



林倭衛遺作展 アルル風景

サントヴィクトアール風景



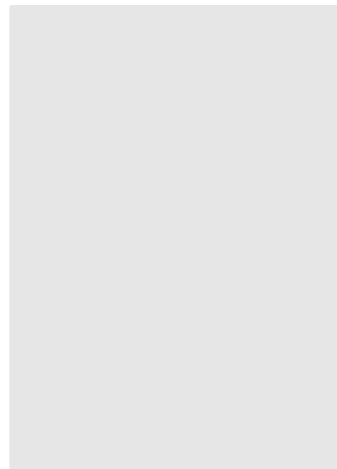
海藻とウニ ピュッフェ

梨  
ポール・クレール

〔新展示作品の中より〕



冬 ポール・クレール



馬 マリノ・マリニー

## 棟方志功板画屏風展

(6 月 18 日～6 月 30 日)

当館講堂に於て開催

1 使 徒 の 柵	2 曲 1 隻	5 仏 者 の 柵	2 曲 1 隻	9 歌 々 の 柵 B	6 曲 1 隻
2 流 離 の 柵	8 曲 1 隻	6 歛 喜 の 柵	6 曲 1 双	10 鍵 々 の 柵	2 曲 1 隻
3 湧 然 の 柵	2 曲 1 隻	7 柳 紅 の 柵	2 曲 1 双		
4 鐘 溪 の 柵	6 曲 1 隻	8 歌 々 の 柵 A	6 曲 1 隻		

## 山本豊市作品展

(7 月 2 日～7 月 12 日)

当館講堂に於て開催

1 女 の 顔	ブロンズ	7 つ む (B)	乾 漆	13 立っている浴女 (A)	乾 漆
2 と ぶ	乾 漆	8 き く	"	14 立っている浴女 (B)	"
3 とぶ (エスキース)	"	9 浴 (I)	"	15 エチュード (A)	"
4 とぶ (エスキース)	"	10 浴 (II)	"	16 エチュード (B)	"
5 の ぼ る	"	11 浴 (III)	"	17 前 田 氏 像	"
6 つ む (A)	"	12 若 い 女	"		

## トーマス・ジョージ作品展

(10 月 1 日～10 月 10 日)

当館講堂に於て開催

油 彩		8 夜 の 映 像	1956	16 錬 金 術	1957
1 形となりゆき (二)	1956	9 形となりゆき (三)	1957	17 幕 合 い 劇	"
2 海 の 星	"	10 移り変り (二)	"	18 太 陽	1956
3 さ な ぎ	"	11 変化の流れ (二)	1956～7	19 適 過	"
4 移り変り (一)	1957	12 洪 水	1957	20 形となりゆき (一)	"
5 夜 の 流 れ	1956～7	13 変 転	1956～7	その他グワッシュ, デッサン数点	
6 変化の流れ (一)	1957	14 海 の 泡 沫	1957		
7 源 泉	"	15 エ セ ン ス	1956～7		

## 林 倭 衛 遺 作 展

(10 月 15 日～10 月 20 日)

当館講堂に於て開催

1 か け 茶 碗	9 ネラバレエの農家	17 木下孝則君像
2 小笠原風景	10 裸 婦	18 セ ー ス 河 畔
3 布 良 の 海	11 婦 人 像	19 こみち (エックスにて)
4 砂 地	12 静 物	20 静 物
5 家	13 鏡 の 前	21 エスタック風景
6 H 氏 の 像	14 フランスの女	22 プロヴァンス風景
7 赤 土 の 涯	15 庭にて描ける肖像	23 室 内
8 出獄の日の大杉栄氏	16 肖 像	24 エスタック風景

25 バリ 郊 外  
 26 無 題  
 27 サン・ヴィクトアール  
 28 サン・ヴィクトアール山  
 29 バリ近郊風景  
 30 辻 潤 氏 像  
 31 南 仏 風 景  
 32 サン・シャマ  
 33 早春の丘 (エックス)  
 34 橋 (エックス)  
 35 サン・ヴィクトアール  
 36 レモンと瓶  
 37 サン・ヴィクトアール  
 38 門  
 39 クキイの橋

40 サン・ヴィクトアール  
 41 サン・シャマ風景  
 42 南 仏 風 景  
 43 梅 林  
 44 外 川 風 景  
 45 青 み か ん  
 46 鯛  
 47 積 藁  
 48 伊豆白浜風景  
 49 草 丘  
 50 北 京 風 景  
 51 仁科城趾 (信濃木崎湖畔)  
 52 伊豆石廊崎灯台  
 53 外 川 風 景  
 54 裸 婦

55 早 春 遅 日  
 56 松 と 岩  
 57 漁村冬日 (下総犬若浦)  
 58 北 京 風 景  
 59 除 虫 菊 畑  
 60 尾 の 道 風 景  
 61 赤 ば ら  
 62 顔  
 63 別 所 沼  
 64 松林の小径 (尾道にて)  
 65 鶺鴒原風景  
 66 竹 籬  
 67 鶺鴒原灯台  
 番外 3 点

## 山 本 丘 人 個 展

(12 月 3 日～12 月 13 日)

当館講堂に於て開催

1 岳	1952	9 高 原	1956	17 北 浅 間	1957
2 冬 岳	1953	10 嶺	"	18 月	"
3 濤 風	1954	11 浅 間 の 冬	"	19 雨 の 中 の 樹	"
4 潮	"	12 花	1957	20 野 を 走 る 嶺	"
5 暮 雪	1955	13 断 崖	"	21 月 下 双 滝	"
6 冬 邸	"	14 春 溪	"	22 池	"
7 濤 と 雪	"	15 黄 昏 前	"	23 野 菜	"
8 滝	1956	16 柿 の 実	"	24 雪 の 坂 道	"

## 追 加 新 展 示 作 品

1月5日	安井曾太郎	北 京 風 景	4月23日	シスレー	ガール海岸
2月26日	坂本繁二郎	読 書 の 女	"	小出檜重	自 画 像
"	関根正二	子 供	"	ギリシャ	ポセイドンの顔(マーブル)
"	猪熊弦一郎	作 品	"	北部フランス	キリストの顔(木)
3月26日	ド ガ	浴 後	7月22日	佐伯祐三	靴 屋 の 店
"	"	女 の 顔(ブロンズ)	10月11日	モネー	霧のテームス河
"	"	裸 婦( " )	11月26日	クレー	冬
"	"	足を拭く女( " )	"	"	梨
"	マイヨール	裸 婦( " )	"	クートー	風 景
4月19日	ブルデル	ヘラクレス(ブロンズ)	"	マリニ	馬
4月23日	"	レダと白鳥	"	ビュッフェ	海藻のように
"	"	傷つける精を運	"	ムーア	支柱を立てる男
"	ヴィヤール	ぶサントオル	12月10日	藤田嗣治	巴里風景
"		鏡 の 前			



# 土曜講座

通算回数	月日	講 座	講 師
210	1. 12	イタリア美術紀行談 (スライド使用)	摩寿意善郎氏
211	1. 19	中国旅行談(スライド使用)	山口 蓬 春氏
212	1. 26	梅原芸術に就て (映画) 梅原竜三郎	今 泉 篤 男氏
213	2. 2	梅原さんとの交り 梅原芸術の真髄 (映画) 梅原竜三郎	福 島 慶 子氏 伊 藤 廉 氏
214	2. 9	美術雑感(梅原氏について) (映画) 梅原竜三郎	武者小路実篤氏
215	2. 16	線 の 話	鳥 海 青 児氏
216	2. 23	現代洋画講座, デッサン論 基礎のデッサン	寺 田 春 弐氏
217	3. 2	現代洋画講座, デッサン論 発展するデッサン	山 口 薫 氏
218	3. 9	現代洋画講座, デッサン論 デッサンの本質	中 山 巍 氏
219	3. 16	現代洋画講座, 技法材料論 基本の智識, その応用	高 橋 忠 弥氏
220	3. 22	現代洋画講座, 技法材料論 マチュールとフアクチュール	小 堀 四 郎氏
221	3. 30	現代洋画講座, 鑑賞論 明日の具象絵画 (映画) 若い美術家	森 芳 雄氏
222	4. 6	現代洋画講座, 鑑賞論 今日の抽象絵画 (映画) 若い美術家	難波田竜起氏
223	4. 13	現代洋画講座, 鑑賞論 絵画芸術の志向性	林 武 氏
224	4. 27	現代アメリカに於ける日米美術家 批評家の生活実態	村 田 良 策氏
225	5. 4	(映画) 平安美術 解説	野 間 清 六氏
226	5. 11	コルビュジェの近作 (スライド使用)	吉 阪 隆 正氏
227	5. 18	アメリカの美術教育	坂 西 志 保氏
228	5. 25	マウナ・ロア火山熔岩と古陶器 (スライド使用)	中谷宇吉郎氏
229	6. 1	モダンアートとモダンデザイン との交流 (スライド使用)	勝 見 勝 氏

通算回数	月日	講 座	講 師
230	6. 8	美術に於ける民族性	亀井勝一郎氏
231	6. 15	最近のパリ美術界 (映画) ビエンナーレ	伊原宇三郎氏
232	6. 22	モーリス・グレイヴスに就て グレイヴスの画室を訪れて	福島繁太郎氏 村 田 良 策氏
233	7. 13	(映画) 川合玉堂, 高村光太郎	
234	7. 20	(映画) 前田青邨, 坂本繁二郎 美術家訪問第四輯	
235	7. 27	フランス美術と文学	今 日出海氏
236	8. 3	海外よもやま話	石 井 好 子氏
237	8. 10	東西美術比較論(一)	小 松 清 氏
238	8. 17	東西美術比較論(二)	福田豊四郎氏
239	8. 24	東西美術比較論(三)	吉 川 逸 治氏
240	8. 31	東西美術比較論(四)	高 橋 義 孝氏
241	9. 7	東西美術比較論(五)	富 永 惣 一氏
242	9. 14	東西美術比較論(六)	本 郷 新 氏
243	9. 21	東西美術比較論(七)	岡 本 太 郎氏
244	9. 28	東西美術比較論(八) (スライド使用)	脇 田 和 氏
245	10. 12	現 代 の 絵 画	サム・フランシス氏 今 井 俊 満氏
246	10. 26	アンフォルメル討論	針 生 一 郎氏 芳 賀 徹 氏 東 野 芳 明氏 中 原 祐 介氏 (司会)徳大寺公英氏
247	11. 2	壁 画 の 話 (スライド) エトルスク壁画	長谷川路可氏
248	11. 9	抽象美術について討論会	川 口 軌 厓氏 村 井 正 誠氏 山 口 正 城氏 末 松 正 樹氏 (司会)西 田 信 一氏
249	11. 30	地中海沿岸の遺跡巡り (スライド使用)	伊 丹 潔 氏
250	12. 14	三周忌に因みて 安井曾太郎を語る	今 泉 篤 男氏 宮 本 三 郎氏
251	12. 21	エジプトの美術 (スライド使用)	新 規 矩 男氏

## 作曲家の個展

日本の作曲家を紹介する目的で、本年5月25日より毎週第二、四土曜日毎に、作品演奏会を開催した。

本年度開催回数 14 回、参会者 1026 名

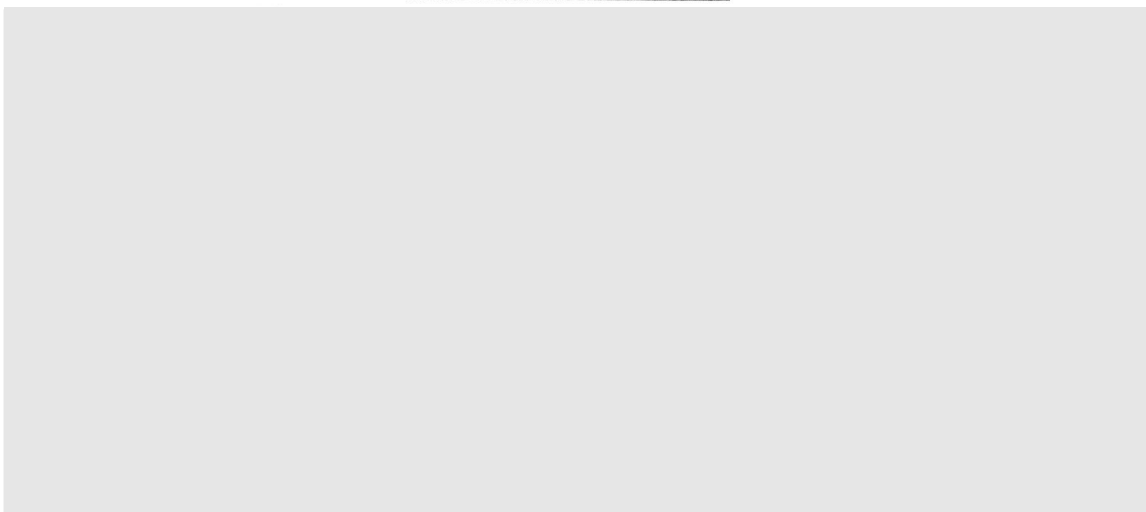
回数	月日	作曲家	回数	月日	作曲家	回数	月日	作曲家
1	5.25	清瀬保二氏	6	8.10	芥川也寸志氏	11	10.26	早坂文雄氏(第二回)
2	6.8	入野義郎氏	7	8.24	松平頼暁, 玉野良雄氏	12	11.9	間宮芳生氏
3	6.22	実験工房	8	9.14	柴田南雄氏	13	12.14	団伊玖磨氏
4	7.13	戸田邦雄氏	9	9.28	池内友次郎氏	14	12.21	1957年の秀作
5	7.27	新興作曲家連盟	10	10.12	早坂文雄氏(第一回)			

## L.P. レコード・コンサート

前年に引き続き、レコード・コンサートを毎週土曜日毎に開催し、開始以来通算 207 回に達した。(10 月以降会場の都合により中止)

本年度開催回数 25 回、参会者 3344 名

## 主な日録



## 映画

「美術家訪問」映画製作のため、東京では安田靫彦、奥村土牛、金山平三の諸氏を、また京都では福田平八郎、西山翠嶂、徳岡神泉、富本憲吉、榊原紫峯、小野竹喬、堂本印象諸氏の撮影だけを終った。この上次々に撮影の上、まとめて製作の予定である。

## ブリヂストン美術館作品目録

### 外国作品

1	ル	ー	ベ	ン	ス	男 の 肖 像	(64.5×49 cm)	
2	ゴ	イ	エ	ン		オ ラ ン ダ 風 景	(13.5×18 )	
3					//	オ ラ ン ダ の 運 河	(29.5×45.5)	
4	レ	ム	ブ	ラ	ン	ト	聖ペテロと兵士達	(21.5×16.5)
5	ファン・デル・ネーダ					フランスの冬景色	( 63×87 )	
6	コ		イ		ブ	ユトレヒト附近の城の濠	(43.5×55.5)	
7	グ	ァ	ル	デ	ィ	サン・ジョルジオ・マジョーレ寺	(26.5×46 )	
8					//	大 運 河 の 税 関	( 33×47 )	
9					//	リ ア ル ト 橋	(62.5×98.5)	
10	ゲ	イ	ン	ズ	ボ	ロー	婦 人 像	(75.5×64.5)
11	ド	ラ	ク	ロ	ア		馬 習 作	( 19×25 )
12	コ		ロ		ー	ヴィル・ダブレー	( 51×46 )	1835~40
13					//	ッ ー タ ン 農 場	( 44×64 )	1845 頃
14					//	オルレアンの風景	( 28×38 )	1845~50
15					//	瓶を持つ伊太利の女	( 33×21 )	1826
16	ミ		レ		ー	農 夫 (素 描)		
17	ド	ー	ビ	ニ	ー	漁 場	( 40×67 )	
18	ク	ー	ル		ベ	雪 景	(43.5×61 )	
19	ク	ー	ル		ベ	海	( 55×66 )	1867
20	ド	ー	ミ		エ	観 劇	(23.5×33.5)	
21	ギ	ー			ス	酒 場 (水 彩)	(18.5×21.5)	
22	マ				ネ	裸 婦 (素 描)	( 41×27.5)	
23					//	オペラの仮装舞踏会	( 47×38.5)	1873
24					//	メリー・ローラン (パステル)	( 42×37.5)	1882
25					//	ブ ラ ン 氏 像	(206.5×127)	1879
26	ド				ガ	踊 子 (素 描)	( 28×22 )	
27					//	踊りの稽古場にて (パステル)	( 46×89 )	1895~98
28					//	浴 後 (パステル)	( 63×68 )	1900 頃
29	ビ		サ		ロ	プージヴァールのセヌ河	( 51×82 )	1870
30					//	ポントアーズの菜園	( 55×46 )	1878
31					//	収 穫 (グワッシュ)	( 71×127 )	1882
32	モ		ネ		ー	洪 水	( 54×73 )	1871~2
33					//	ヴェニスの夕陽	( 74×93 )	1908
34					//	セ ーヌ 河	( 22×26.5)	
35					//	海 (ブルターニュ・ベリール)	( 61×74 )	1888 頃
36					//	睡 蓮	( 81×99 )	1903
37					//	睡 蓮 の 池	(101.5×74.5)	1907
38					//	霧のテーマス河 (パステル)	( 34×50 )	
39	シ		ス		レ ー	村 の 道	( 66×93 )	1866
40					//	プ ー ジ ヴ ァ ー ル	( 55×74 )	
41					//	サン・マンメ六月の朝	( 53×74 )	
42					//	風 景	( 55×74 )	

43	シ	ス	レ	ー	海 景 (ガール海岸)	( 53×65 )	1897
44	セ	ザ	ン	ス	凭る裸体 (素 描)	( 31×40 )	1861~5
45			//		静 物 (鉢と牛乳入れ)	( 20×18 )	1873~7
46			//		水 浴 (素 描)	( 11×14 )	1875~85
47			//		水浴群像 (水 彩)	( 13×21 )	1900 頃
48			//		サント・ヴィクトアール 山とシャトー・ノアル	(65.5×81 )	1898~1900
49			//		帽子をかぶった自画像	( 60×49 )	1890~4
50	ル	ノ	ア	ー	少 女 (パステル)	(61.5×46 )	1887
51			//		裸 婦 (素 描)	( 32×17 )	
52			//		カーニュのテラス	( 46×55.5 )	1905 頃
53			//		坐 る 浴 女	(55.5×44.5)	1914
54			//		青 帽 子 の 女	( 26×23.5 )	1918 頃
55	ゴ	ー	ガ	ン	庭 の 中 の 家	( 60×74 )	1884
56			//		女 の 顔	(46.5×38 )	1886
57			//		丘のある風景 (ブルターニュ)	(73.5×93 )	1888
58			//		ブルターニュの林	( 53×46 )	1889
59	ゴ		ッ	ホ	鯨	( 37×44.5 )	1886 頃
60			//		花	(46.5×38.5)	//
61	ル		ド	ン	裸 婦 (素 描)	( 60×68 )	
62	ル		ッ	ソ	牛 の い る 風 景	( 47×55 )	
63			//		飛行船のある風景	( 46×54.5 )	
64	シ	ニ	ヤ	ッ	港	(73.5×54.5)	
65			//		ラ・ロシェル風景(水彩)	( 21×27 )	
66	ロ		ダ	ン	裸 婦 (素 描)	( 31×17.5 )	
67			//		裸 婦 (素 描)	( 18×11.5 )	
68	ブ	ル	デ	ル	レダと白鳥 (水 彩)	( 25×16 )	
69			//		傷つける精を運ぶサントオル(水彩)	( 20×15 )	
70	ボ	ナ	ー	ル	夜 の 室 内	( 44×52 )	1899
71			//		桃	(36.5×38 )	1926
72			//		海 岸	( 30×45 )	
73			//		ヴェルノン風景	(63.5×62 )	1925 頃
74	ヴ	ィ	ヤ	ー	鏡 の 前 (パステル)	( 31×24 )	
75	マ		チ	ス	画 室 の 裸 婦	(65.5×50 )	1898~9 頃
76			//		コリウール海岸	( 25×32 )	1905
77			//		縞 ジャ ケ ッ ト	( 123×64 )	1909 頃
78			//		横 た わ る 裸 婦	( 33×41 )	1920 頃
79			//		オ ダ リ ス ク	(45.5×37.5)	1922
80			//		オ ダ リ ス ク	(55.5×46 )	1926
81			//		海 水 着 の 女	(46.5×33 )	1935
82			//		リュリュと犬 (素 描)	( 55×45 )	1931
83	ド			ニ	バ ッ カ ナ ー ル	( 99×139 )	1920
84	ラ	ブ	ラ	ー	横 た わ る 女	(38.5×55.5)	
85			//		シャルトル風景	( 65×53 )	
86	ド		ラ	ン	聖 母 子	( 27×22 )	1913
87	ロ	ー	ラ	ン	二 人 の 少 女	(65.5×54.5)	1923

88	ローランサン	手鏡を持つ女	(46×38.5)	
89	デュファイ	静物	(38×46)	
90	//	静物(水彩)	(46×59)	
91	//	ヨットのある港	(54×81)	
92	ユトリロ	サン・ドニ運河	(54×75.5)	1910 頃
93	ベラール	緑の坐像	(101×82)	
94	オーガスタス・ジョン	素描	(23×41)	1917
95	ピカソ	女の顔	(46×38)	1923
96	//	茶碗と匙	(15.5×27)	1922
97	//	卓子掛の上の静物	(51.5×66.5)	1946
98	ブラック	梨	(27.5×45)	1927
99	ルオー	ビエロ	(75.5×51.5)	1925
100	//	風景	(20.5×31)	1913
101	ドソンゲン	公園の道	(68×52)	
102	ヴラマンク	風景	(60×73)	1905~6
103	//	風景(水彩)	(47×56)	
104	スゴンザック	風景(水彩)	(50×56)	
105	ロート	海浜	(50.5×73)	1922 頃
106	ザツキン	三人の女(グワッシュ)	(62×45)	
107	マリニ	馬(グワッシュ)	(61×42)	1954

ボムペイ壁画断片2点 その他外国作品数点

## 日本作品

1	中丸精十郎	滝	(107.5×70.5 cm)	1890
2	百武兼行	臥裸婦	(97×187)	1881 頃
3	浅井忠	縫物	(61×46)	1902
4	//	グレーの秋(水彩)	(27×43)	1901
		他 1 点		
6	原田直次郎	童女	(51×41)	1885 頃
7	黒田清輝	ブレハの少女	(81×54)	1891
8	//	秋の山路	(81×61)	1912 頃
9	//	鉄砲百合	(61.5×81)	1909
10	//	針仕事	(80×65)	1890
11	藤島武二	天平の面影	(198.5×94)	1902
12	//	自画像	(47×32.5)	1904~5
13	//	ヴェルサイユ風景	(73×91)	1906~7
14	//	噴水のある風景	(16×22)	//
15	//	ルチュルン	(23×33)	1908
16	//	ネミ湖	(26.5×35)	//
17	//	瑞西風景	(24×33)	//
18	//	噴水のある池	(24×33)	1908~9
19	//	ヴキラ・デステの池	(24×33)	//
20	//	糸杉(ヴキラ・ファルコニエリ)	(40×37)	//
21	//	ボムペイ壁画模写	(35×26.5)	//
22	//	//	(26.5×35)	//
23	//	ボムペイ	(26.5×35.5)	//

24	藤 島 武 二	ボ ム ペ イ 遺 跡	(26.5×35.5)	1908~9
25	"	池	( 31×26 )	"
26	"	糸 杉	( 33×24 )	"
27	"	ナ ボ リ 湾	( 26×35 )	"
28	"	イ タ リ ー の 海	( 24×32 )	"
29	"	池 畔 の 女	( 30×31 )	"
30	"	半 裸 婦 人 像	( 31×30 )	"
31	"	空 (ロ ー マ)	( 27×35.5)	"
32	"	雲 (ロ ー マ)	(22.5×38.5)	"
33	"	ロ ー マ の 遺 跡	(35.5×26.5)	"
34	"	ロ ー マ の 寺 院	(33.5×27 )	"
35	"	ロ ー マ 郊 外	( 24×33 )	"
36	"	黒 扇	( 64×41.5)	"
37	"	チ ョ チ ャ ラ	( 45×38 )	"
38	"	唐 様 三 部 作	( 79×138.5)	1912 頃
39	"	淡 路 島 遠 望	( 53×73 )	1929
40	"	浪 (大 洗)	( 34×46 )	1931
41	"	五 剣 山 の 日 の 出	( 53×73.5)	1932
42	"	五 剣 山 の 日 の 出	(37.5×45 )	"
43	"	屋 島 よ り の 遠 望	( 54×73 )	"
44	"	東 海 旭 光	( 65×91 )	"
45	"	奈 良 風 景	( 54×46 )	1934
46	"	海	( 38×45.5)	"
47	"	旭 光 (新 高 山)	( 39×46.5)	1935
48	"	琉 球 の 女 (パステル)	( 36×29 )	1936
49	"	琉 球 の 女 (鉛 筆)	(35.5×28 )	"
50	"	蒙 古 の 日 の 出	( 42×55 )	1937
51	"	黄 浦 江 (水 彩)	( 28×36 )	1938
52	"	港 の 朝 陽 (絶 筆)	( 19×24 )	1943
53	"	日 の 出	( 19×24 )	
54	"	騎 兵 (鉛 筆)	(55.5×27 )	
55	"	素 描 5 点 他 10 点		
70	岡 田 三 郎 助	雪 景	( 21×26 )	1913
71	"	髪 梳 く 女	( 60×46 )	1915
72	"	水 浴 の 前	( 200×76 )	1916
		他 2 点		
75	満 谷 国 四 郎	プ ル タ ー ニ ュ 風 景	( 46×55.5)	1913 頃
76	"	坐 婦	( 65×54.5)	1913
77	"	ば ら (絶 筆)	(37.9×45.5)	1936
		他 4 点		
82	青 木 繁	閣 威 弥 尼 (水 彩)	( 15×10.2)	1903
83	"	輪 転	(27.3×37.6)	"
84	"	木 立	( 33×24 )	1904
85	"	農 家	( 29×31 )	"

86	青	木	繁	春	(水 彩)	(16.3×32.3)	1904
87		"		丘に立つ三人	(水 彩)	( 16×14 )	"
88		"		天 平 時 代		( 46×76.5)	"
89		"		海 の 幸		( 70×181.5)	"
90		"		海		(10.3×15 )	"
91		"		水 浴 (水 彩)		( 14×25 )	1904~5
92		"		海 景		( 35×71.5)	"
93		"		光 明 皇 后		( 38×72.5)	1905
94		"		雪 景		( 23×32.5)	1906
95		"		わだつみのいろこの宮		(181.5×70 )	1907
96		"		月 下 滞 船 図		(41.5×57 )	1908
97		"		春	(水 彩)	(44.5 丸)	"
98		"		夏	( " )	( " )	"
99		"		秋 の 夜 (鉛筆淡彩)		(14.5×16 )	1902
100		"		風 景 (扇 面)		( 15×40.5)	1904
101		"		女 の 顔 (羽 子 板)			"
102	小	出	檜 重	帽子をかぶった自画像		( 125×89.5)	1924
103		"		裸 婦		( 70×46.5)	1925
104		"		裸 婦 (素 描)		( 35×50 )	1926
105	安	井	曾 太 郎	水 浴 裸 婦		( 128×193 )	1914
106		"		ば ら		( 63×52 )	1932
107		"		桜		(60.5×55 )	1946
108		"		り ん ご		( 31×51.5)	
109		"		北京風景(水彩, パステル, 色鉛筆)		( 27×19 )	1944 頃
111		"		レモンとメロン		(45.5×37.9)	1955
				他 1 点			
113	中	村	彝	自 画 像		(79.5×60 )	1909
114	岸	田	劉 生	麗子坐像 (水 彩)		( 34×47 )	1920
115	国	吉	康 雄	寝 た る 女		( 41×76.5)	1929
116	古	賀	春 江	素 朴 な 月 夜		(116.8×91 )	1929
117		"		単 純 な 哀 話		(116.8×91 )	1930
				他 7 点			
125	佐	伯	祐 三	靴 屋 の 店		(72.5×59 )	1925
126		"		広 告 と テ ラ ス		(53.5×65 )	1927
127		"		ガ ラ ー ジ ュ		( 60×73 )	1927~8
128		"		広 告 貼 り		( 73×60 )	1928
129	和	田	英 作	読 書		( 73×53.5)	1902
				他 3 点			
133	山	下	新 太 郎	供 物 点		( 55×45.7)	1915
				他 3 点			
137	坂	本	繁 二 郎	少 女		( 41×33 )	1923
138		"		読 書 の 女		( 41×32 )	1923
139		"		自 画 像		(45.5×37.5)	1929
140		"		放 牧 三 馬		(79.5×99 )	1932
				他 4 点			

145	藤 田 嗣 治	巴 里 風 景	( 46×55 )	1918
146	"	イ ン キ 壺 の 静 物	( 22×27 )	1926
147	"	猫 の い る 静 物	( 82×101 )	1939~40
148	"	ド ル ド ー ギ ュ の 家	( 45×53 )	1940
149	"	公 園 の 雪	( 32×41 )	"
150	"	室 内	( 38×46 )	1943 頃
		他 9 点		
160	梅 原 竜 三 郎	ナポリよりソレントを望む	(45.5×61 )	1921
161	"	富 士	( 40×49 )	1946
162	"	椿	( 95×39 )	
		他 2 点		
165	関 根 正 二	子 供	(60.6×45.5)	1919

その他日本現代画家作品数十点

## 版 画

ロ ー ト レ ッ ク ムーランルージュのポスター 他百数十点

## 彫 刻

1	バ リ ー	牛	(ブロンズ)	(20.5 cm)	
2	ロ ダ ン	青 銅 時 代	(ブロンズ)	( 63.5 )	1877
3	"	考 え る 人	(ブロンズ)	( 38.5 )	1880
4	"	立 て る フ ォ ー ネ ス	(マーブル)	( 71 )	1884
5	"	ビュヴィス・ド・シャヴァンヌ	(ブロンズ)	( 51 )	1892
6	"	女 の 顔	(ブロンズ)	( 24.5 )	
7	ブ ル デ ル	風の中のベートルヴェン	(ブロンズ)	( 126 )	1904~8
8	"	サ ッ フ ォ	(ブロンズ)	( 28 )	1907~8
9	"	ペ ネ ロ ー プ	(ブロンズ)	( 120 )	1907~12
10	"	弓をひくヘラクレス	(ブロンズ)	( 77 )	1909
11	マ イ ヨ ー ル	女 の 顔	(テラコッタ)	( 30 )	
12	デ ス ビ オ	アントアネットの顔	(ブロンズ)	( 31 )	1918
13	"	女 の 顔	(ブロンズ)	( 27 )	
14	ポ ン ポ ン	し ゃ こ	(ブロンズ)	( 27.4 )	
15	"	禿 鷹	(ブロンズ)	( 20.5 )	
16	"	家 鴨	(ブロンズ)	( 18.5 )	
17	ザ ッ キ ン	母 子	( 石 )	( 75 )	
18	"	ポ モ ナ	( 木 )	( 131 )	
19	"	三 美 神	(真 鍮)	( 77 )	

20 ギリシャ、ローマ彫刻数点

21 エジプト彫刻数点

22 パルミューラ彫刻数点

23 中世フランス彫刻1点

その他日本現代彫刻家作品数点

## そ の 他

イ ン カ 陶 器	数 十 点
ギ リ シ ャ 陶 器	"
ペ ル シ ャ 陶 器	"
ス ペ イ ン 陶 器	"



## 美術家映画のこと

石橋 幹一郎

私が6年前に外遊したとき、パリのラテン区の片隅、ソルボンヌ大学のパンテオン神殿（バスツールなど文化への偉大な貢献者を祀つてある）の近所で、まことに小さな、風変りな映画劇場を発見しました。そこはニュースと美術映画ばかりやっているらしく、予告もすべて美術関係で、私が見たのは画家ピカソの1日を撮ったものと、ピカソの“ゲルニカ”（スペイン内乱にさいして戦争を描いた傑作）を懇切な解説と美しい音楽で、さながら画面が活けるもののように撮影したものなど、数多くでありました。

私は以前にこのような美術映画を見なかったわけではありませんけれども、映画によって訴える力を見るものに非常に大きな、深い感銘をおこさせることと、作品鑑賞のためにはその作家の平常の動く一場面でも知ること、それだけ作品の理解に入り易い、と思われたのです。

芸術は“作品”にあつて“作家”にはないという考え方もあるにはあるでしょうが、私は前々から人びとの心をゆたかにし、日本民族の歴史に大きな貢献と足跡を残してゆく作家たちの生ける姿を動く肖像画として保存することは、次々の世代にあたえる感銘は少くないであろうから、ぜひ何とか撮つてみたいと願っていました。

1952年正月、父がその蒐集品を一般公開するためブリヂストン美術館を開設しました。見ていると、来館者の熱心で真剣なこと、範囲の広いこと、年齢的にも若いことなどがいたく感じられましたので、美術館の運営委員に相談してみました。先生方は双手を挙げて大賛成でこちらが面喰ったのでありますが、こうしてかような試みをはじめたのであります。

早速、梅原竜三郎画伯を手初めとして、高村光太郎、坂本繁二郎、川合玉堂、鍋木清方などの各画伯をその作風と共にフィルムにおさめたのでありましたが、撮ってみると、容易ならぬむずかしいテーマであることがわかって来ました。というのは、全般的には大変喜んで激励と賞讃を頂く一方、一体油絵の描き方を見せるのか、先生方のお顔を長々と画面にのせるだけなのか、一向に徹底しない憾みがあるのではないかと手きびしい批判も聞えたりして、これでは却って芸術に入っていくとする人びとの助けに正しくなるか疑問をもった時もありました。或は、画家のアトリエを写す

以上は、裸のモデルを画面に入れたら一般常設館で歓迎するとその道の権威者の批判もありました。

もともとこの試みは、常設館に流して利益を獲ることは全然考えておらず、本当に美術を愛し、理解に努力している人びとの助けとなり、また芸術の先達たちの動く肖像画を伝えることにあるのですから、一時代にできるだけ多くの美術家の姿を急いで集めることが先づ第一であります。そこで方針をふたたびその線に引き直して見ることにしました。その結果、先づ約50人位の作家を集めた「美術家訪問」なる映画を若干エンサイクロペジヤ、または“Who's Who”的ながら、見る人から好感をもつて迎えられものとして作り、更に石橋財団の事業の一つとして継続してゆくことになりました。どの美術家も実に快く協力して頂いたことは幸で有難く思っているところですが、安井曾太郎、小林古徑の両画伯を撮影する機を失したことはまことに残念でありました。

画家とは絵を描くものなり、との見方で、画面に向う人だけを期待して見る人には、あるときは猫と戯れる画家、あるときは、夫人と肩を相抱きながら散歩に出て行く画家などの、制作を離れた姿などがあらわれて面喰われたかもしれません。しかし、かつて見た映画“ピカソの一日”の一体どこに私が深い感銘を受けたか、もう一度思い起してみると、燦々と陽光の輝く地中海の白い道を歩いて、屋下りの静かな空気に包まれた白い壁、スパニッシュ風の低い屋根の小さなアトリエのドアを押して入る何気ない動作とか、絵具やオブジェをアトリエの中で手当たり次第に動かす巨匠の動作の端々が、その人の人となり、あるいは作風を非常に力強く裏付けして私の心を打ったように思うのです。勿論、一人の美術家だけを大きな一本にまとめ上げることは、例えば川合玉堂先生のように新しい日本画の制作法によって自由に制作する方法を教える大きな意味も含まれていると思います。とともに数多くの肖像画の集成もちがった価値があります。

いづれを採り、いづれを捨てることもよくない。両面があいまって初めて大きく日本美術現代美術の造成されてゆく片鱗を後世に伝えて行くことができれば、私の志すことは達せられるわけだと考えています。幸いにも、去年の春カラーで撮った前田青邨画伯の“石橋の図”（註）制作過程は、イタリアのある映画祭

で金賞を貰っておくことは、私の微力の一つでも何か国のお役に立つことが出来たという意味で大変嬉しくおもっております。

大きなことを考えても実際はまだ緒についたばかり、いつの日にか本当のお役に立つことが出来るか、出来るだけ数多くの美術家と出来るだけ本質的な技法

を後世に伝えるように、しかもそれが次々の世代の人びとの未来の片隅でも支え得るよう私は心から願っています。

(註) “石橋の図” は、陛下の御希望により喜多六平太氏をモデルに謡曲“石橋”の能姿を描いたもの。現在皇居の御食堂に掲げてある。

1957

昭和 32 年 度 記 録

---

ブリヂストン美術館

東京都中央区京橋 1 の 1



BRIDGESTONE GALLERY

1-1 KYOBASHI, CHUOKU, TOKYO, JAPAN



東京都中央区京橋 1ノ1

ブリヂストン美術館